

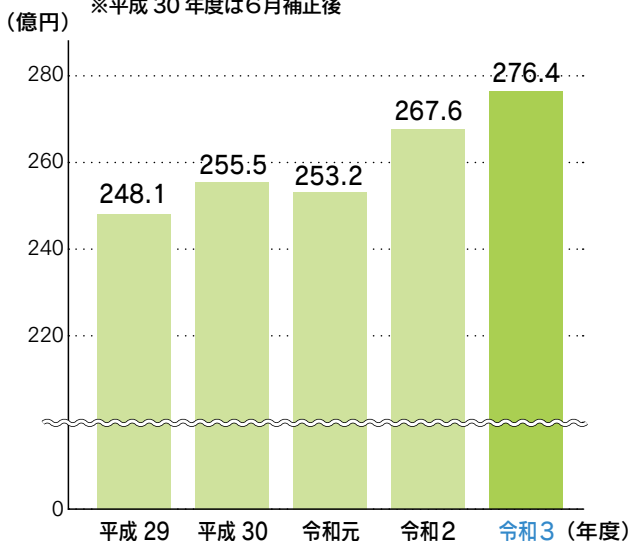
一般会計

令和3年度当初予算総額

276億4,300万円

一般会計予算額の年度別推移

※平成30年度は6月補正後

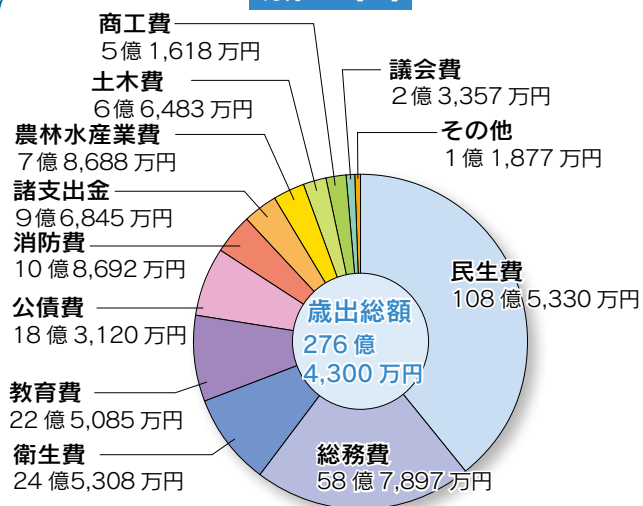


本市の令和3年度における財政状況については、歳入をみると、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、自主財源の根幹をなす市民税の大幅な減少が見込まれ、歳出では、社会保障に関する経費や一部事務組合への負担金などの義務的経費のほか、伊万里中学校改築工事、大坪地区における複合施設の整備などの普通建設事業費の増加などにより、依然として厳しい財政運営が続く見込みです。

このような中、令和2年10月に策定した『第5次伊万里市財政基盤安定化計画』に基づき、個々の事業を徹底的に見直すほか、コロナ禍における対応も十分配慮した真に必要で緊急性や実現性の高い事業を選択し、財政の健全化を図りながら、堅実な予算編成を行いました。

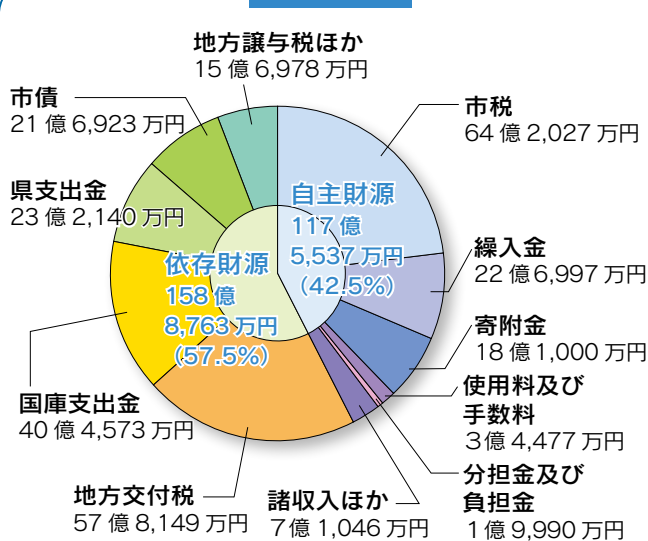
その結果、今年度の伊万里市一般会計予算は、総額で276億4,300万円となりました。令和2年度と比較すると3.3%の増加となっています。

歳出



- **民生費** …… 社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費** …… 企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **衛生費** …… 保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **教育費** …… 小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **公債費** …… 借入金の返済に要する経費です。
- **消防費** …… 火災など災害に対応するための経費です。
- **諸支出金** …… 企業会計への繰出金などです。
- **農林水産業費** …… 農林水産業の振興に要する経費です。
- **土木費** …… 道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **商工費** …… 商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費** …… 議会運営に要する経費です。
- **その他** …… 労働費や災害復旧費などです。

歳入



- **市税** …… 個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金** …… 基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金** …… ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- **使用料及び手数料** …… 施設の使用料、戸籍や住民票の謄抄本の手数料などです。
- **分担金及び負担金** …… 災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **諸収入ほか** …… 受託事業収入や雑入などです。
- **地方交付税** …… 国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金** …… 国からの負担金や補助金です。
- **県支出金** …… 県からの負担金や補助金です。
- **市債** …… 市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税ほか** …… 地方譲与税や地方消費税交付金などです。

特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるため、特別会計を設けています。

令和3年度は、表1のとおり3つの特別会計を設けており、その予算総額は、145億519万円となっています。

■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などをを行うための会計です。

■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。



写真はイメージです

表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	68億4,819万円
介護保険	62億734万円
後期高齢者医療	14億4,966万円
計	145億519万円

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の3つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■下水道事業特別会計

下水道を維持管理するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表3のとおりです。

表2 企業会計予算額

区分	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入	収入
	15億1,280万円	3億7,282万円
	支出	支出
	15億1,280万円	10億6,024万円
工業用水道事業	収入	収入
	10億8,319万円	2億5,537万円
	支出	支出
	10億8,319万円	9億2,772万円
下水道事業	収入	収入
	12億6,415万円	11億3,713万円
	支出	支出
	12億9,295万円	14億6,375万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高
一般会計	218億4,349万円
国民健康保険特別会計	1億5,000万円
計	219億9,349万円

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	54億3,121万円
	工業用水道事業	95億7,651万円
	下水道事業	91億5,880万円
	計	241億6,652万円

※令和3年3月補正後の額です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。